やさしい心と自立心をのびのび育てます

ごあいさつ

平成29年度より幼保連携型認定こども園まさきこども園となりました。幼保連携型認定こども園とは、幼稚園、保育園の壁を越え「すべての子どもの最善の利益」を考えた、幼稚園、保育園両方のよさを兼ね備えた内閣府管轄の施設です。まさきこども園では、一斉保育での知識や技術の習得を重視する保育から、乳幼児期に一番大切とされる「非認知能力(忍耐力・協調性・計画性)」を育てる「遊び」を中心に置き、金子みすゞさんの「みんな違ってみんないい・・」の詩のように、その子らしさを大切にしていきたいと思います。

園長 櫛田昭裕

教育・保育理念

よりよい「家庭環境」を支援するために利用する方に対して最善を尽くすことを誇りとし、入園している乳幼児の 健やかな成長を願い、遊びが発展する魅力ある環境を整えるとともに、仏教精神を取り入れた人を思いやり、共に育ち合う、豊かな人間性を持った子どもを育成する。

教育・保育方針

乳幼児の最善の利益を考慮し、生きる力を持った、人間性豊かな子どもを育成するための教育及び保育を行います。環境整備の徹底を図るとともに安全面に気を配り、健全な心身の発達のため生活に必要な習慣や態度を園生活の流れの中で身に付けます。家庭や地域社会と連携を図るとともに、地域における子育て支援のために、乳幼児など保育に関する相談に応じ助言などを行い子育ての専門施設としての役割を果たします。

こども園の一年

- 4月=入園式、なかよし会
- 5月=花まつり、保育参観、健康診断
- 6月=歯科検診
- 7月=たなばたお楽しみ会、プール開き
- 10月=運動会、健康診断、芋掘り

心温まる給食

アレルギー対策や嗜好調査を通してこどもが喜ぶ給食を提供しています。
『作った人の顔がわかる、思いの伝わる』心が温まる給食作りを心がけています。

●地域(東海三県)の食材を中心に国産の食材を主に使用しています。

●子ども達や保護者の方にどんな食材が周辺地域で収穫されているのかを給食や展示物から知っていただく機会を設けています。

●行事食を取り入れ、子ども達が行事に関心を持つきっかけ作りをしています。

■子どもたちのことを考えた充実した設備

●全室にエアコン加湿空気清浄機を設置しています。

●0･1歳児のお部屋には床暖房を設置しています。●看護師･管理栄養士が在勤しています。